

こんにちわ。今日も暑いですね・・・(汗)さて、昨日はブログを更新できませんでした、本日、また続きを書かせて頂きます。尚、このブログには大きな意味があります。その意味は、<http://kakomirai.jimdo.com/>をご覧くださいませ!では、続きです。私は、風俗業でお金、人脈、そしてヤクザ(組織的)地位もそれなりに掴むことができた。私の兄貴は「刺青は絶対に入れるな」という方でしたので、刺青も入れませんでしたし、両手とも指はあるし、もともと顔立ちは幼く見られるので、私を知らない人はヤクザなんてわからなかったと思いますね。まあ、多分、外見だけ見れば成金に見えたでしょうね。そんなある日、私の舎弟から1本の電話が入った。兄貴、すいません。今、〇〇〇(組織名)のところともめてます。収まりがつかないようなのでお力をお借りできますか。理由は?と聞くと、女性関係 と言うこと。私は喧嘩している場所へ車(当時は新車のベンツでしたね)を走らせた。現場(ファミレスの駐車場)に着くと悪そうなやつらが数十人集まっており、今にも殴り合いが始まるのではないかと、という状況だった。私はその輪に入っていくと、相手は私がよく知っているヤクザだった。おう、相川さんよ。あんたの舎弟が俺の女を無理やりホテルに連れ込んだんだぞ。このケジメはどうつけてくれるんだ 私は、すぐに切り替えした。無理やりだろうが、他の男に連れ込まれるような教育しているお前が悪いんだろう。そんなに心配するならば、首輪でも付けておけ と。こんなことを言えば喧嘩になることはわかっていたが、私はこの話を私たちが優位に進めるためには、とにかく一歩も引かない私の舎弟が悪いと認めない相手の女性が悪いと攻めるそして、挑発すると決めてグイグイ押した。理由は相手側から手を上げさせること である。案の定、相手は一気に私たちに殴りかかってきた。そして、大乱闘どの位の時間がたっただろうか。相手側は血だらけになって、うなり声を上げて倒れていた。私達も相当、怪我をしていたが相手よりは酷くなく、車に乗り込み、そして、私達はその場を後にした。野次馬も数人いたが、警察も呼ばれなかったので!これも、運なのでしょうかね。。。それから1時間位すると、私の携帯電話が鳴った・・・・・・ この当時は、どんなに自分が悪くても引いたら負け という考えでした。でも、これは大きな勘違いで、自分が悪いことを認めることはとっても勇気がいることなのだと思います。よく食の問題が発覚しますが、どのように誤魔化すか誰が責任をとるのかなんてことを考えているのではなく、自分自身がまずは悪いと認め、謝罪するかそして、問題点の追求と当該問題点の改善相手に損害が出ているのであればその損害を保障するこれらを早くやればやるだけ、後々、面倒なことにはならないのです。後々、面倒なことにならないようにする為にも、まず自分が心で自分が悪いと思うのであれば まずは謝ることです。誰もって食べようと言うわけではないのですから私もこの当時は引かないことがカイツコイイと大きな勘違いをしていましたがね。。。この大乱闘から少しずつ、私の歯車が狂い始めるのである・・・・・・